

今回のヒアリ確認については環境省からも環境省
記者クラブに対して同時に発表されています。

平成29年8月18日

市政記者 各位

福岡市港湾空港局
保健福祉局
環境局

博多港におけるヒアリの確認について

博多港におけるヒアリ対策につきましては、7月21日にアイランドシティコンテナターミナル内（一般の方は許可なく立ち入れない場所）でヒアリが確認されて以降も、南沙港からのコンテナを特定の場所に一時保管し、その周辺にベイト剤及び忌避剤を設置のうえ監視するほか、ターミナル外周に忌避剤を散布するなど外部への拡散防止に取り組んでいるところです。

これらの取り組みなどを踏まえ、当該コンテナのうち、ヒアリが混入している可能性が高いコンテナを特定し、8月17日に環境省がコンテナ内部を検査したところ、アリが発見され、専門機関による種の同定の結果、特定外来生物であるヒアリと確認されましたので、お知らせします。

なお、今回、ヒアリが混入していたコンテナ以外のコンテナやその周辺からヒアリは発見されていません。

1 経緯

(1) 発見の状況

中国・広東省の南沙港から出港し、7月19日に貨物船から陸揚げされたコンテナについて、ヒアリが内部に混入している可能性が高いコンテナが特定されたため、8月17日に輸入貨物の荷主、運送事業者の協力を得て、環境省がコンテナを開け、内部を検査しました。

コンテナ内部床面を中心に約300匹のアリ（うち約20匹は生体）が発見され、生きたアリは直ちにすべてが駆除されています。なお、死骸の中にはヒアリの餌となっていた可能性のある他種のアリや種が特定できない女王アリと思われる個体の一部も含まれています。

(2) 対応状況

- 生きて確認されたヒアリは全て殺虫処理されました。

その後、当該コンテナ内部及び貨物については燻煙剤による消毒を行い、また、当該コンテナ内部床面は、液剤の散布により消毒を行いました。さらにコンテナ底面及び留置地点の舗装面も検査し、ヒアリがいないことが確認されています。

- 現段階においては、他のコンテナやターミナル周辺からヒアリの確認情報はなく、また、これまで当該コンテナの周辺にベイト剤等を設置するなど対策を行っており、コンテナ内部の大部分のアリが死滅していたことから、ヒアリが周辺に定着し、繁殖している可能性は低いと考えられます。
- 今回の作業において、ヒアリに刺された方や、健康被害を訴えている方はいません。

2 今後の対応

アイランドシティコンテナターミナル内全域及びその周辺においても、環境省や国土交通省と連携してヒアリ確認地点の周辺2km調査や68港湾調査を実施するとともに、福岡市独自でもターミナル外周への忌避剤散布やヒアリ確認箇所付近でのトラップ、ベイト剤の設置など拡散防止に取り組み、ヒアリが確認された場合には、速やかに防除してまいります。

3 注意事項

ヒアリは、攻撃性が強いいため、生きた個体を素手で触らないように注意してください。刺された場合、体質によってはアナフィラキシー・ショックを起こす可能性があります。

【参考】

ストップ・ザ・ヒアリ（ヒアリの特徴・生態・駆除方法・刺されたときの対処方法等の参考）https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/files/r_fireant.pdf

4 発見した場合

ヒアリと思われる個体を発見した場合は、下記までお知らせください。

＜平日 8：45～17：30＞		
保健福祉局生活衛生課	電話(092)711-4273	FAX(092)733-5588
東区生活環境課	電話(092)645-1024	FAX(092)632-8999
博多区自転車対策・生活環境課	電話(092)419-1070	FAX(092)441-5603
中央区生活環境課	電話(092)718-1092	FAX(092)718-1079
南区生活環境課	電話(092)559-5101	FAX(092)561-5360
城南区生活環境課	電話(092)833-4087	FAX(092)822-4095
早良区生活環境課	電話(092)833-4343	FAX(092)851-2680
西区生活環境課	電話(092)895-7053	FAX(092)882-2137

【お問い合わせ先】

福岡市

（ヒアリによる健康被害に関すること） 保健福祉局生活衛生課 小野 TEL：(092)711-4273 内線 2251 FAX：(092)733-5588	（ヒアリの生態に関すること） 環境局環境調整課 渡邊 TEL：(092)733-5388 内線 2430 FAX：(092)733-5592	（コンテナターミナルでの対応に関すること） 港湾空港局港営課 富永 TEL：(092)282-7117 内線146-7117 FAX：(092)282-7772
---	---	---

環境省

（今回の調査に関すること） 九州地方環境事務所 野生生物課 TEL：(096)322-2413 FAX：(096)322-2447
--

博多港におけるヒアリの確認について (平成 29 年 7 月 21 日の続報)

<福岡市同時発表>

平成 29 年 8 月 18 日 (金)
環境省自然環境局
野生生物課外来生物対策室
代表 03-3581-3351
直通 03-5521-8344
室長 曾宮 和夫
室長補佐 八元 綾
担当 知識 寛之
九州地方環境事務所 野生生物課
直通 096-322-2413
課長 鑪 雅哉
課長補佐 森 一弘
担当 立岩 沙知子

平成 29 年 7 月 21 日に福岡市東区博多港のコンテナヤードのアスファルトのくぼみで特定外来生物ヒアリ (*Solenopsis invicta*) が確認されました。その後、港湾管理者が内部にヒアリが混入している可能性があるコンテナを特定し、8 月 17 日に当該コンテナを開けて内部を検査したところ、約 300 個体のヒアリ (生体約 20 個体を含む) が確認されましたので、お知らせします。

生きた状態で確認された個体については、全て薬剤で殺虫処理しており、また当該コンテナ内部及び荷物については燻煙消毒を行いました。

1. 経緯

当該コンテナは、中国広東省広州市の南沙港^{なんさ}から出航した貨物船で博多港アイランドシティコンテナターミナル (以下、ICCT) で陸揚げされたものです。

7/21 港湾管理者が ICCT においてヒアリ生息調査を実施した際に、コンテナヤード舗装面にできたアスファルトくぼみ付近にてアリ数十匹を発見したことから、発見したアリを全て殺虫処分し、サンプルを採取。発見地点周辺を囲い込むようにアリ忌避剤を散布して万一の拡散を防止するとともに、周辺に殺虫餌 (ベイト剤) を設置。ヒアリの可能性があるかと判断し、福岡市と九州地方環境事務所に報告。

九州地方環境事務所が九州大学熱帯農学研究センターにアリのサンプルの同定を依頼し、同センターの専門家がヒアリであることを確認。(詳細の経緯については平成 29 年 7 月 21 日付け報道発表資料「博多港におけるヒアリの確認について」参照。)

7/22～7/26 港湾管理者及び福岡市が ICCT で目視調査。この間に当初発見地点付近で複数回にわたりヒアリ (計数十個体) を確認したため、内部にヒアリが混入している可能性のあるコンテナを平積みにして、周辺にヒアリが拡散しないように個別に取り囲むようにアリ忌避剤を散布。7/25 には港湾管理者が内部にヒアリが

混入している可能性のあるコンテナ1個を特定。当該コンテナの周囲に高密度に殺虫餌（ベイト剤）を設置し、コンテナを取り囲むようにアリ忌避剤を散布。九州地方環境事務所がコンテナを開封して内部の検査、消毒を行うために、当該コンテナ貨物の運送事業者等と調整を開始。

8/17 運送事業者がコンテナ貨物の荷主及び港湾管理者の協力を得て当該コンテナを開け、九州地方環境事務所職員が内部を検査。コンテナ内部床面を中心に約300個体のアリ（生体約20個体を含む）を確認。生きた個体は殺虫処分。九州地方環境事務所職員が死骸を採取して九州大学熱帯農学研究センターの専門家に同定を依頼したところ、ヒアリであることを確認。また、死骸の中にはヒアリの餌となっていた可能性のある他種のアリや、種が特定できない女王アリと思われる個体の一部も含まれていたことを確認。

2. 今回確認されたヒアリについて

九州地方環境事務所職員が、ヒアリが確認された当該コンテナ内部及び荷物を燻煙剤で消毒しました。また、当該コンテナ内部床面に液剤の散布を行い、生きて確認されたヒアリは全て殺虫処理しました。さらに港湾管理者の協力を得て、九州地方環境事務所職員がコンテナ底面及び留置地点の舗装面を検査して、ヒアリがいないことを確認しました。

また、現段階では他のコンテナやICCT周辺からの発見情報はないことから、ヒアリがICCT周辺に定着し繁殖している可能性は低いと考えられます。

なお、博多港ICCTは、環境省及び国土交通省が全国7港湾で緊急に調査したヒアリ生息調査（6月30日）で、ヒアリが確認されていなかった場所です。

3. 今後の対応

今回、ヒアリが確認されたコンテナが留置されていたICCTでは、すでに港湾管理者等によって殺虫餌（ベイト剤）設置等による防除を実施していましたが、環境省では、今後は国土交通省、福岡市、博多港の港湾管理者等の関係機関と協力しながら、殺虫餌（ベイト剤）設置等の防除対策の範囲を広げ、水際対策を強化する予定です。また、環境省は、国土交通省港湾局と協力して、中国、台湾等の定期航路を有する68港湾における目視及びトラップによる調査や殺虫餌（殺虫餌（ベイト剤））の配備を行うとともに、全国のヒアリが確認された地点において周辺2kmの調査を順次実施しており、博多港は両調査の対象となっています。

4. 情報提供のお願い

ヒアリは、攻撃性が強く、刺された場合、体質によってはアナフィラキシー・ショックを起こす可能性があります。世界各地に定着がみられることから、一旦定着すれば根絶することは困難となるため、侵入監視により、早期発見、早期駆除により定着前に根絶を図ることが極めて重要です。

当該博多港や既に発見されている港湾に限らず、海外からの貨物や旅客が到着する港や空港においては同様にヒアリ侵入のリスクがあります。

地方自治体や駆除業者の方々につきましては、在来種ではないことを確認の上、ヒアリと思われる個体が発見された場合には、管轄区域の環境省地方環境事務所にご連絡ください。

連絡先

<http://www.env.go.jp/region/index.html>

ストップ・ザ・ヒアリ（ヒアリの特徴・生態・駆除方法・刺されたときの対処方法等の参考）

https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/files/r_fireant.pdf

※ヒアリは強い毒を持つため、生きた個体を素手で触らないようにしてください。

今回確認されたヒアリの働きアリ



今回ヒアリが確認された場所

